



担当：妹尾

「コロナ禍で工夫しながら、いち早く再開された、中宮地域のふれあい喫茶『集』」を特集します。代表の中島民生委員長と杉本女性部長にお話を聞きました。

ふれあい喫茶 集



◆… SC
◆… 中島民生委員長 ◆… 杉本女性部長



◆まず活動再開に至ったきっかけは何ですか？

◆きっかけは、コロナ禍でお年寄りが孤立されるのを一番危惧したからです。それと近隣の方から、前みたいにふれあい喫茶があったらいいねと聞くので、何らかの形でふれあい喫茶の再開をしなくては、いつまでも自分たちが怖がってはいけません。誰かから言われたのではなく、どういう風にしたら再開できるかを、スタッフみんなで考え、まずスタッフが不安に思っていることを出してもらい、それをどういう風にしたら解決できるかを考えました。



◆例えばどんな不安なことが出ましたか？

◆不特定多数が来られることです。熱がある人も来られるんじゃないかと言うので、じゃあ入口に検温器を置きましょう。それと手を消毒するものを置きましょう。そういうのをやりました。それから、コロナ対策の予算があったので、空気清浄機を買いました。パーティーションも作りましょうと、どんどん進めていきました。ここまですれば、できるんじゃないか。めぼしが着いて、そしたら再開しようとなりました。



◆ところで、民生委員長になられて何年くらいですか？

◆6年です。民生委員になってからは21年です。6年前に委員長になるまでは、喫茶は女性の民生委員がするという感じてした。男性は、朝の準備と最後の片づけだけはしていました。委員長になって、みんなに「来てよ」と言われて、最初から最後までするようになりました。自分が営む喫茶店から美味しいお水を毎回10リットル持ってきて、夏場は氷も作って持って来っています。



◆長く活動を休止されている間、何かモヤッとした気持ちがあったかと思いますが、いかがでしたか？

◆たしかに、いかにコロナ禍でも、普通の店は開けている。やり方によっては、お客さんは来られるのではないかと、ずーっと悶々としていました。何をどうクリアしていったら良いのかを聞きに行ったり…。



◆それは、どこに聞きに行かれましたか？それから、話を聞いて良かったとか、一番厳しかったなどはありましたか？

◆保健所です。話を聞いて実用的で良かったのも、一番厳しかったのも保健所です。でも保健所が言ったことをすれば、できるのではないかと思いました。そこで、まず一番に会場の「場所が使えるかどうかですよ」と言われました。



◆地活協にプレゼンに行かれたと聞きました。が…。

◆地活協で話をしたら「国や市の方で、ダメと言われると困るけど、そこから出された条件がきっちりクリアできたら大丈夫ですよ」ということでした。ただ、1回だけ9月に「できたら、集会所を使うのを中止してほしい」と…。8月は毎年お休みしているので、9月が1回とびました。あとは通常通りです。



◆ところで、保健所に言われたことをクリアしていくのはしんどくはなかったですか？中島委員長を突き動かす原動力は何ですか？

◆「何としても再開してやる」という気持ちの方が大きかったです。自分が動けば良いだけなので、苦にもならなかったです。とにかく1日でも早く再開させたいという思い。それから「こうしたらできるよ」とほかの地域に伝えたいという気持ちです。地域の方にも声をかけて、「できない、できないと言うよりも、どうしたら再開できるかを考えてください」とも話しました。しんどいと思わなかったし1つずつクリアしていったら再開できました。



令和5年2月6日ぜんざいします



◆準備した中で困ったことや、ぶち当たった壁とかありましたか？

◆困ったこと？ もうがむしゃらにやりましたよ。しいていうなら、慎重的な区役所の意見にたいして、「もし何かあったら僕が一切の責任を取る」とはっきり言ったことがありました。ずっとやってきたことを、困っている人がいるのに、理屈付けて開催しないことはすぐできる。どうしたら再開できるかを考えるのが僕らの考えです。



◆そういったことを経て、民生委員のみなさんが先に再開されたんですね。

◆本格的に再開したのは、去年12月にまずは子育てサロンを始めて、同じ月の第3月曜日にプレ開催しました。1月は休みだから、2月から本格的に再開して、3月からは続けて開催しました。最初は、スタッフ名簿や項目も作って、チェックしてもらいました。



◆それはスタッフにコロナ感染がないか、咳・熱がないかなどですか？

◆そう、手指の消毒をしましたかとか、細かく作ってチェックしてもらいました。



美味しい水で淹れています



◆民生委員のみなさんと女性部長さんとで、意見の食い違いはなかったですか？

◆なかったです。4月から、新しい女性部長さんになって、その時に「民生委員さんはどういう風にされていますか？」と聞きに来られて、こういう風にしていますよと資料など全部渡して、「分からないことがあれば聞きに来てください」と言いました。



◆どのようなコロナ対策をされましたか？

◆コロナ対策については、女性部より先に民生委員のみなさんが喫茶を再開されていたんです。右から左へすべて教えてもらって、感染対策も、住所の追跡ができるように名簿を作りましたよとか、大阪府のQRコード追跡システムのこと、すべて教えていただきました。中島民生委員長には足を向けて寝られないくらいです(笑)

◆たいして教えてないです。こういう風にしましたよ、くらいです(笑)



◆日頃からいい関係を築かれているから、みなさんも中島委員長がこれだけ動いてくれるからと共感されているのですね。

◆僕が民生委員長だからとそっくり返って動かなければ、何もならないから、先頭きって動かないと…。そしたら後からフォローして下さる力が大きいですよ。



◆1人でできることは少ないということですね。

◆はい、こういうパーテーションも民生委員さんの中で、「知り合いに、大きなアクリル板のサイズを測って切ってもらおうよ」って声があがって、そうなったら次々とお手伝いを申し出てくださいます。ひとりではできないから、みんなに声かけて、話してですね。



◆コロナ対策などが大変な中で、早くから始められて、何か工夫されたことや気を付けたことはありますか？

◆工夫というわけではないですが、再開に関して回覧板でお知らせしました。感染対策にも気を配って、通常6人1テーブルを4人1テーブルで最高16人まで、「30分交代ぐらいで、皆さん久しぶりの顔合わせを楽しみに来てくださいね」とお知らせはしました。9月に感染者が増えたので一度中止にして、10月から再開しました。



お揃いのエプロンです



◆9月に中止にされたのは、前もって「感染者が何人ぐらいになったら休もう」などの話し合いがあったからですか？

◆それは特に無かったです。ただ、大阪モデルで警戒の黄色信号が出ていたので、それに反して開催するのはどうかと言うことで中止にしました。



◆では、翌月には感染者数が減少したので、再開されたということですか？

◆はい、10月は再開して11月も継続してという感じです。



◆そんなコロナ対策についてですが、喫茶を始められたころと、今と比較して、何か変えられたことはありますか？

◆当初、追跡のため書いてもらっていた名簿を、3回目ぐらいから廃止しました。個人情報とか気にする方もおられますし、ほぼ知っている人が来られるので番号の座席に座っていただけたら、それで良いということにしました。



◆ところで、喫茶の再開に向けて動き始めた時、ボランティアさんが新しく入られたりされたと思いますが、どんな感じで進められましたか？

◆来年度から再開しようかという話を、今年1月ぐらいからスタートしましたが、2年間のブランクがあるので手順を忘れていたり、人が変わったりもありましたので、3月に町会長にお客さん役になってもらい、コーヒーの淹れ方やセッティング・テーブルへ運ぶタイミングなどのシミュレーションを実施し、4月からお客さんをお呼びして再開する形になりました。



◆再開後も、ほぼ知り合いが来られるということですから、以前、来られていた方が多かったということですか？

◆そうなんです。あの方だ!とかいう感じで、以前来られていた方が、けっこう来てくださっていて、「ご無沙汰しています」や「うれしいわぁ」という声をすごく聴いたので、それが再開して良かったというところですよ。



◆やってよかった!と思うエピソードを教えてくださいませんか？

◆前回、「ここに来たら認知症のことで、何かお話が聞けると聞いたんですけど…」と来られた方を、この喫茶から旭区社会福祉協議会に、そこから西部地域包括支援センターへつなげられたことです。専門のところじゃなく、気軽に来て相談できるスペースって必要なのかな、やって良かったなと言うのが、一番大きな所なんです。



◆参加者の方々から、かけられて嬉しかった言葉はありますか？

◆「ありがとう」しかないです。一番うれしいです。皆さん笑顔で「やっとこれたわ」と、嬉しそうにしてくださいませ。1人で来て下さる方もおられます。些細なことですが「エプロンがいいね」とか「今日のお菓

子美味しいわ」とか、来られた方から声をかけやすいと思ってもらえるところがうれしいです。

◆「やってくれてありがとう」です。そう言って帰られるのが一番うれしいです。こちらの思いがそのまま伝わっていると思います。



喫茶オープン時から22年ボランティアしています

この活動を漢字一字で表すと？

◆「声」です。

かたらいとかすべて声で聞こえるということから。

◆「楽」です。

たのしみです。



◆喫茶再開のタイミングをはかっている地域に、「こうしたら結構うまくいった」というポイントを伝えるとしたら、何を伝えたいですか？

◆熱意の共有です。常に同じことを「何とかしたい、何とかしたい」と言い続けることが大切です。みなさん同じ方向を向いていないとうまくいかないと思います。

今後の抱負

◆今は地域の高齢者の方が多いですが様々な年代の方が、ずっと入って来られるようになってほしいです。まだまだ敷居が高いなと思います。もっとそとにアピールして、開かれた喫茶にしたいと思います。

◆今は、一度にたくさんの方には来ていただけないですけど、そのための環境作りはしたいと思っています。今回、女性部が再開できたのは、本当に民生委員長のおかげです。また、以前の喫茶の時のように、自身が認知症ではないかと心配された方を、旭区社会福祉協議会や西部地域包括支援センターにつなぐことができた。これらは横のつながりがあったおかげで、そんなつながりを、ふれあい喫茶をきっかけに発展していけたらと思っています。

ふれあい喫茶 集

主催：中宮連合振興町会女性部
中宮地区民生委員

開催日 毎月第1月曜日(中宮連合振興町会女性部) (1・8月はお休み)
第3月曜日(中宮地区民生委員)

開始時間 午前10時～正午

参加費用 飲み物(お菓子付き)1杯100円

開催場所 江野公園中宮集会所

申込有無 なし